

春日井民商だより

春日井民主商工会発行
春日井市ことぶき町183番地
電話 0568-81-1482
FAX 0568-81-9756
<http://www.kasugaiminsyo.stl.jp>

春日井民商婦人部総会

9月28日(土)夜6時半〜 栄太郎
参加費一〇〇〇円(時間が変更になりました)

日本母親大会に参加して

8月24・25日に東京で開催された日本母親大会に参加した婦人部の春日さんから、感想文が寄せられましたので紹介します(要約)。
「今こそ憲法を営業と暮らしに生かす」を心に刻み噛みしめた大会でした。来年こそたくさんさんの婦人部の皆さんに、この感動と感激を共有してもらいたいと思います。

民商の仲間も、本来生活保護が受給できるはずなのに諸事情で受給できない現実があります。運動を強め変えていきたいと思えます。
人権は最高位の権利であり、保障されるのが当然です。憲法9条と25条を正しく実施させる運動を進めていきたいと思います。参加させていただきました。

福島原発被害の現状を見てきました

人間社会と原発は共存できません。原発ゼロの運動を進めよう!

9月7・8日、森山会長をはじめ二役・常任理事9名が福島県連の協力を得て、福島原発の現状を視察してきました。(事務局長 星野)

9月6日夜、常任理事会終了後、車に乗り、福島をめざしました。

翌朝10時に福島駅で新潟県柏崎民商(柏崎刈羽原発のあるところ)の皆さんと合流、マイクローバスに同乗させていただいて、現地を回ることができました。1日目は、福島市内から国道114号を経由して原発に向かいました。二度の検問を越え、放射線量が春日井周辺の千倍近くにもなる地域も通り浪江町に入り、2年前の3月12日以降時間

が止まったまま無人の街に驚愕しました。さらに原発に接近し、肉眼で原子炉建屋が見える場所まで進むと、周辺のかつての住宅地は一面の草原となっていました。
津波で打ち上げられた漁船もそのまま放置されています。津波の被害だけならば、もっときれいにされているはずなのに原発事故が重なったため手つかずで放置されているのです。

2日目は宿近くの松川浦漁港からスタート。漁協の建物が改修されていました



被災地で元気に活動する相双民商の皆さんと



浪江町で放射線量を計測する森山会長。この付近の線量は春日井市のおよそ300倍。



▲浪江町の新聞店には震災翌日の新聞がそのまま放置されていました。



放置された漁船と慰霊碑(浪江町)

入って良かった
安心の全商連共済

※なお、2日間の福島視察の報告書を作成予定です。

税務調査はじまる

9月2日、西支部のSさん(宅配業)に税務調査がありました。

今回の税務調査は、「事前通知」の対象調査で、春日井民商からは6名が立会いました。しかし、小牧税務署側は調査時に民商の立ち入りは一切認めないという不当なものでした。

税務署側は次回9月30日にも税務調査を予定しています。

今年の民商まつりは11月10日(日)に開催!

まつり成功のため皆さんのご協力をお願いします

- ・11月10日(日)は今から予定を空けて、家族そろっておいでください。
- ・不要品の提供をお願いします。ただし、古着・ガラスケース人形・中古食器は扱いません。

秋のパソコン入力会は9月17日(火)からスタート! 毎週火曜日の午前10時から12時です

毎月15日までの会費集金にご協力をお願いします 会計 山崎孝亀